職種：品質保証　　職務：品質保証

【概要】

　　不良品の発生及び出荷を防止するため、全社的な品質保証システムを構築する仕事。

【仕事の内容】

　　不良品の出荷を防ぐ検査システムを確立し、不良品情報の解析と製造工程へのフィードバックを行い、全社的品質管理体制を構築する。「品質保証」は、製造した鋳物品の不良品の発見やその改善を行うことで、鋳物製品の品質を消費者に対して保証する作業である。また、各工程では小さな誤差であってもそれらは相乗的に完成品に支障をきたし、不良品の製造、出荷につながる。「品質管理」はそれを防ぐために、各工程において品質を保証していくことで不良品の製造を防ぐ作業である。

【求められる経験・能力】

1. 学卒（新卒）採用により入職するケース、経験者（中途）採用により入職するケースなど、様々である。幅広い知識が求められる仕事であるため、中途採用の場合には、ものづくりの現場を経験していることが要求されることがある。
2. 品質保証の仕事を推進するうえで統計的手法は極めて重要であり、統計について基本事項を理解していることが求められる。すなわち、データを整理・分析し、そこから正確な情報を読み取る能力が求められる。
3. 品質保証の仕事は、社内各部との連携や意見調整を伴う仕事である。場合によってはこれらの部門と考え方が対立するケースもあり、品質保証担当者にとってコミュニケーション能力や折衝調整能力も重要である。
4. 鋳造業や鋳造製品に対する興味や関心を持っていること、また製品の精度向上に取り組むとともに自身の技能レベル向上への意欲を持っていることなどが挙げられる。

【関連する資格・検定等】

* 技能検定〔厚生労働省　職業能力開発促進法〕

鋳造（鋳鉄鋳物鋳造作業・鋳鋼鋳物鋳造作業・軽合金鋳物鋳造作業・銅合金鋳物鋳造作業）（特級・１級・２級）

金属材料試験（組織試験作業、機械試験作業）（1級・2級）

　・一般社団法人日本鋳造協会認定　鋳造カレッジ（鋳造技士）

* 品質管理検定（QC検定）（1級～4級）〔一般財団法人日本規格協会〕
* 労働安全衛生資格（作業主任者、免許等）、消防法の危険物取扱資格
* 特別教育を必要とする危険有害業務（労働安全衛生法59条3項、労働安全衛生規則36条）
* ISO9001、ISO14001　内部監査員　など

【厚生労働省編職業分類（小分類）との対応】

０８３　機械製造技術者　など